

石 財 政 第 6 9 号
平成30年9月19日

各 部 局 長 様

財 政 部 長

平成31年度予算編成方針について

平成31年度予算編成方針を別紙のとおり定めましたので、各部局におかれましては内容を十分にご理解頂くとともに、予算編成に係る各種作業について遺漏の無いようよろしくお願いいたします。

(財政課)

平成31年度 予算編成方針

平成30年9月
財 政 部

目次

I	骨格予算の編成	P1
II	予算編成の基本方針	P2
III	留意事項	P5
IV	財政収支見通し(仮置き)	P6
V	予算編成スケジュール	P7

I 骨格予算の編成

○ 平成31年度予算は、市長・市議会議員選挙の年であるため、経常的経費や継続的な事業を中心とする「骨格予算」として編成を行う。

例) 義務的経費、施設の維持管理経費、債務負担行為済の経費 等

○ 政策的経費は、基本的に当初予算の計上を留保し、選挙後の補正予算にて「肉付け予算」の編成を行う。

Ⅱ 予算編成の基本方針

(1) 「第5期総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進

- ・「第5期総合計画」に掲げた目標へ向けた取り組みを着実に推進する。
- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の実現に向けた事業の具体化を図る。

(2) 「財政運営指針」に基づく財政規律の遵守

- ・「石狩市財政運営指針(H29-33)」に基づく財政規律の遵守に努める。
- ・将来負担の軽減を図るため、中長期的な視点で市債発行の適正化を図る。

Ⅱ 予算編成の基本方針

(3) 部局間連携による効果的な施策の展開

- ・行政需要の多様化・複雑化へ対応するため、関係部局間で十分な協議・調整を行う。
- ・組織横断的な部局間連携による効果的な施策の展開を図る。

(4) 「重点化・効率化」の徹底

- ・施策の効果・効率性を高めるために、投資効果の高い事業へ重点化を図る。
- ・人件費を含めたフルコストの視点で最小の経費で最大の効果をあげる理念を基本とする。

Ⅱ 予算編成の基本方針

(5) 事業検証を踏まえた再構築等

- ・手段や有効性等、事業全般における検証を行い、必要な見直しや再構築等を行う。
- ・事業を効果的かつ効率的に執行するため、自主的な工夫を反映した予算要求に努める。

(6) 市民協働等の推進

- ・様々な地域課題の解決に向けて、市民団体や企業等との協働を推進する。
- ・事業構築にあたっては、民間資金やノウハウ等、民間活力の活用を積極的に検討する。

Ⅲ 留意事項

- 別に定める「予算見積書等作成要領」に基づき、通年予算ベースで見積もりを行い、予算要求すること。
- 平成31年10月から消費税率の引き上げ(8⇒10%)が予定されていることから、関連する制度改正等に留意のうえ、的確に対応すること。
- 平成31年5月に予定されている「元号」の改元に係る経費については、対応漏れがないよう十分に留意のうえ予算要求すること。

IV 財政収支見通し(仮置き)

(単位:百万円)

歳入				歳出			
項目	H31見込	H30見込	増減	項目	H31見込	H30見込	増減
市税	8,100	8,004	96	人件費	4,149	4,133	16
地方譲与税・交付金	1,758	1,708	50	公債費	2,865	3,113	▲248
地方交付税	7,258	7,294	▲36	扶助費	6,610	6,556	54
臨時財政対策債	1,020	984	36	特別会計支出金	3,494	3,585	▲91
前年度繰越金	1	658	▲657	一部事務組合負担金	1,513	1,551	▲38
その他一般財源	74	244	▲170	基金積立金	124	329	▲205
特定財源	9,389	8,808	581	投資的経費	2,171	1,455	716
うち市債	1,417	803	614	その他経常経費等	6,674	6,978	▲304
合計①	27,600	27,700	▲100	合計②	27,600	27,700	▲100
H31収支見込(①－②)=0							

V 予算編成スケジュール

<p>平成30年</p>	<p>《政策経費》 10月12日 10月下旬 10月下旬～ 11月中旬～ 12月中旬 《経常経費》 11月9日 12月中旬～</p>	<p>予算要求書提出期限 第1回理事者説明 財政課ヒアリング 財政部長ヒアリング 第2回理事者説明 予算要求書提出期限 財政課ヒアリング</p>
<p>平成31年</p>	<p>1月上～中旬 1月下旬 2月上旬 2月上旬</p>	<p>事業費調整(政策経費、経常経費) 地財計画、最終調整 予算案内示、予算案確定 報道発表</p>